

ご利用方法

『FX Compass (エフェックス コンパス)』ご利用に当たってのご注意。

- 1) 各通貨の価格は GFT が提供しておりますので、DealBook360 と同じ価格でチャートや予測分析が表示されます。但し、FX Compass は DealBook360 と同じ ID とパスワードで動きますので、両方同時にはご使用になれません。
- 2) ご利用に当たっては、FX Compass を最初に起動し、その後画面右上にある「切」をクリックして GFT との接続を切って下さい。
- 3) その後、DealBook360 を起動して下さい。
- 4) FX Compass に戻り、画面右上にある「接」をクリックすると、DealBook360 の自動的に接続が切れ、FX Compass がアクティブになります。
- 5) DealBook360 をアクティブにするには、再度 FX Compass の画面右上にある「切」をクリックして GFT との接続を切り、DealBook360 の「ファイル」→「更新」をクリックして下さい。

『FX Compass (エフェックス コンパス)』の概要

最大の特徴は、システム独自のチャート分析結果が「展望」という形で文章化されて提示されることです。

展望

【展望】は、コンピュータが自動的に値動きを予測し、早い時期に注意を促す警告を含め、解り易い言葉で解説してくれます。2 億通り以上の文章で展望が表示されますので、様々な局面を的確にとらえることができます。また、相場が変化しそうな局面では、画面の色を変えてお知らせするアラート機能があります。



【展望】は情報ウィンドウ（チャートの右側の領域）に表示されます。

売買シグナル

売買シグナルとは、FX Compass がオリジナルな分析手法を加えたテクニカル分析による相

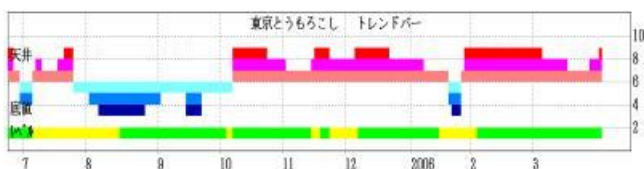
場分析結果で、特に注目して頂きたいポイントをお知らせするものです。売買シグナルには「RSI」、「MACD」、「天井・底」、「押し目・戻り」、「トレンド形成」、「長期売買」、「超短期売買」など16種類あり、情報ウィンドウとチャート上に矢印で表示され売買の参考にして頂けます。



スト	ストキャスティック	逆	逆行現象
RS	相体力指数 (RSI)	天	天井・底値
AD	平均方向性指数 (ADX)	押	押し目・戻り
CD	MACD	ボ	ボックス相場
%R	パーセントR	長	長期売買
足	ローソク足型	短	短期売買
KY	キーリバーサル	超	超短期売買
BA	トレンドバー	形	トレンド形成



トレンドバー



トレンドバーはFX Compassのオリジナルな指標で、値動きを3段階にデジタル化してトレンドを分析するものです。赤系の色は上昇トレンドを示し、青系の色は下降トレンドを示しています。また、色濃く表示された部分は天井や底を表しており、1番天井(底)、2番天井(底)という捉え方です。トレンドバーが何番目の天井(底)や押し目(戻り)にあるかと売買シグナルを合わせて分析すると、より効果的な判断が可能です。緑色と黄色は相場の変動レベルを表しています。緑色がトレンドのある相場で、黄色がボックス相場です。

トレンドバーはFX Compassのオリジナルな指標で、値動きを3段階にデジタル化してトレンドを分析するものです。赤系の色は上昇トレンドを示し、青系の色は下降トレンドを示しています。また、色濃く表示された部分は天井や底を表しており、1番天井(底)、2番天井(底)という捉え方です。トレンドバーが何番目の天井(底)や押し目(戻り)にあるかと売買シグナルを合わせて分析すると、より効果的な判断が可能です。緑色と黄色は相場の変動レベルを表しています。緑色がトレンドのある相場で、黄色がボックス相場です。

チャート表示機能

豊富なチャート

FX Compassには表示可能なテクニカル指標が38種類あり、様々な分析が可能です。また、RSIを移動平均したり、期間累計を計算したり、テクニカル指標を加工することが可能です。一代足の表示や自由な組合せの比差チャートも作成可能です。

また、複数銘柄を自由に組み合わせて表示することが可能ですので、市場の傾向などを分析するのに活用できます。

アクセサレータ・キー、ツールボタン、右クリックメニュー

FX Compass には出来るだけ簡単に、又、少ないクリックでチャート分析ができるよう様々な機能が装備されています。ツールボタンやアクセサレータ・キー、右クリックメニューなどで、チャート表示や銘柄、指標の変更などがマウスをあまり移動しなくても楽に操作ができるようになっています。

全画面表示(左ダブルクリック)

チャート上でマウスをダブルクリックすると、マウスのある位置のチャートが全画面表示になります。全画面になったチャートをもう1度ダブルクリックすると元に戻ります。指標が重なったりしている部分を詳しく拡大して見たい時などに利用します。

指標の設定・加工・表示

テクニカル指標の設定を自由に変更してデフォルトに登録することが出来ます。

8種類のテクニカル指標を同時に表示することができます。

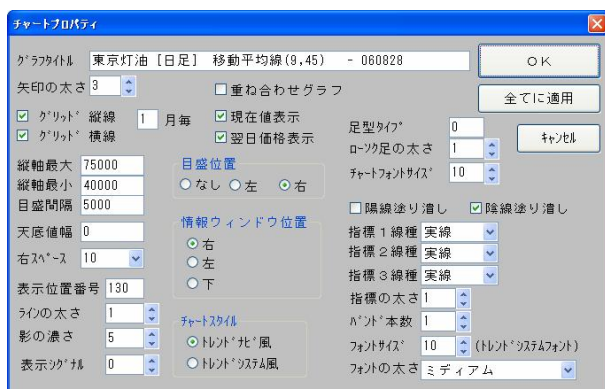
右クリックメニューで簡単に指標を変更することが出来ます。

テクニカル指標を加工することができます。例えば、RSIを移動平均化したり、ストキャスティックを%Rにしたりできます。

翌日チャート表示

翌日の価格変動を想定したチャートを作成出来ます。トレンドの変化や指標の変化を事前に分析しておくことができます。

チャート・プロパティの設定



グリッド線の設定、軸目盛設定、終値表示設定、翌日価格逆算機能、右スペース、ローソク塗り潰し、指標の線の太さ、情報ウィンドウ位置設定、軸目盛位置設定、チャートスタイル設定などがチャート・プロパティで設定できます。

分析機能

売買シミュレーション、システム適性、銘柄適性

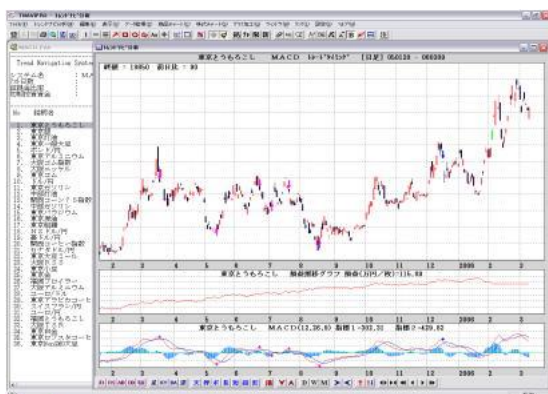
FX Compass の売買シグナルを利用したシミュレーションが可能です。シミュレーションによる運用結果を損益推移グラフ、サマリー、売買明細表、収益率表などで出力することが可能です。利食いや損切りの設定が可能です。

システム適性を利用して売買シミュレーションを行うと、全銘柄の売買シミュレーション結果が一覧表で表示できますので、FX Compass の売買シグナルのうち、どのシグナルが、どの銘柄で、どの程度の収益率になったかを簡単に分析できます。

銘柄適性は個別銘柄ごとにどの売買シグナルのパフォーマンスがよかったか結果をリスト表示します。

銘柄	シグナル	買値	売値	利益	勝率	売買回数	平均利益
東京エレクトロニクス	MACD	1100	1150	50	80%	10	5.0
三菱商事	RSI	2000	2100	100	70%	15	6.7
三井物産	MACD	3000	3200	200	90%	8	25.0
住友商事	RSI	4000	4100	100	60%	12	8.3
丸善	MACD	5000	5500	500	75%	10	50.0
丸紅	RSI	6000	6200	200	85%	10	20.0
丸山	MACD	7000	7500	500	70%	10	50.0
丸山	RSI	8000	8500	500	65%	10	50.0
丸山	MACD	9000	9500	500	80%	10	50.0
丸山	RSI	10000	10500	500	75%	10	50.0

パフォーマンス表示



システム適性や銘柄適性、ポートフォリオ分析などでは、それぞれの売買システムの運用パフォーマンスを収益率、勝率、売買回数などの結果一覧表とともに、トレードタイミングチャートや損益推移グラフなどを表示できます。チャート上に売買した矢印が表示されますので、売買シグナルの検証に有効です。

ポートフォリオ分析



FX Compass に装備された売買シグナルと銘柄を組み合わせたポートフォリオを作成することが可能です。そして運用シミュレーションの結果を一覧表示するとともに、全体のパフォーマンスや個別パフォーマンスをグラフとリスト

で表示できます。

操作方法

ツールバー



チャートをテンプレート保存する（又は開く）。



印刷プレビュー（ヨコ）。



縦（横）自動印刷。チャートが1枚だけ縦（横）に印刷されます。



支持線・抵抗線を描画します。各ラインの値段と変動率が表示されます。



十字カーソルを描画します。マウスをクリックするとカーソル位置の情報を表示します。



フリーラインを描画します。再描画すると消えます。



チャート分析のメニューウィンドウを表示します。



FX Compass 分析のメニューウィンドウを表示します。



サヤチャートメニューを表示します。



情報ウィンドウの表示・消去を行います。



シグナルの表示・消去を行います。



現在表示されているチャートの銘柄を変更します。



チャートを変更します。



一代足を表示します。



本日の最新値段に更新します。



チャートの表示状態を初期状態に戻します。



表示されているチャートを全期間表示します（ズームアウト）。



マウスで指定した範囲を拡大表示します（ズームイン）。



2つから4つのチャートの配置について、レイアウトの変更が可能です。



天井・底の値段と日付を表示します。3タイプに変更可能です。













ローソク足、バーチャート、星足を切り替えます。



文字サイズを拡大（縮小）します。



文字の太さを太字にします。

- 
 表示されているチャートの銘柄を銘柄リストの次（前）の銘柄に変更します。

 表示されているチャートのシグナルを次（前）のシグナルに変更します。
- 
 表示されているチャートの表示間隔を拡大（縮小）します。

 チャートを20データずつ移動させます。画面動作設定で変更可能です。

 チャートを1データずつ移動させます。

アクセサレータ・キー

- F1** デフォルト登録チャートを表示する
- F2** テクニカルマスター分析のメニューを表示する
- F3** チャート分析のメニューを表示する
- F4** 表示中のチャートを銘柄リストの先頭の銘柄に変更する
- F5** チャートを日足で表示する
- F6** チャートを週足で表示する
- F7** チャートを月足で表示する
- F11** チャートの表示間隔を縮小する
- F12** チャートの表示間隔を拡大する
- 1~0** 各種のチャートを表示する
- 画面を右へスクロールする
- ←** 画面を左へスクロールする
- ↓** シグナルとチャートを順に変更する
- ↑** シグナルとチャートを順に変更する
- Tab** 銘柄リストの次の銘柄に変更する
- Shift** 銘柄リストの前の銘柄に変更する
- Space** シグナルを表示（非表示）する
- Home** 情報ウィンドウ（展望）を表示（非表示）する
- PgUp** フォントのサイズを大きくする
- PgDn** フォントのサイズを小さくする
- Esc** 表示中のウィンドウ（ダイアログ）を閉じる
- B** フォントの太さを太字にする
- D** チャートを日足で表示する

- W** チャートを週足で表示する
- M** チャートを月足で表示する
- P** 天井・底値段を表示する
- L** チャートのレイアウトを変更する
- N** 表示中の銘柄を本日の最新値段に更新する

右クリックメニュー

チャート上で右クリックすると頻繁に使用するメニューがポップアップ表示されますので、マウスを移動させずに楽に操作ができます。